

KENWOOD

デュアルサイズCASSETTE/CDレシーバー

DPX-4100V

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

Source Selection/Audio Control

Display/Clock Control

Function Control

CD Mode

Tape Mode

Tuner Mode

Name Set

DSP /Equalizer Control

Analyzer Control



使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

Functional Operation



ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

EZ Operation

EZ Operation

Options

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Help ? Operation
? Word

© B64-2073-00 (JW)

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター (東京) 電話(03)3477-5335 FAX(03)3477-5334 〒153-0042東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間 9:00~18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた4

- 安全上のご注意6
- 使用上のご注意8
- CDとカセットテープの取り扱い10

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

CD、カセットテープ、FM/AM放送、交通情報の聴きかた12

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら...
困ったときのお助けページ！

Help ? Operation ? Word

Help? Operation36
Help? Word42

付録

Appendices

- 取り付け時のご注意44
- 接続46
- 取り付け48
- 保証とアフターサービス50
- 仕様一覧51

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

Source Selection/Audio Control14
ソース選択
オーディオコントロール

Display/Clock Control16
ALL OFFモード中表示切り替え
時刻調整

Function Control18
ファンクションセット

CD Mode20
トラックサーチ
マニュアルサーチ
ポーズ
トラックリピートプレイ
トラックスキッププレイ
ランダムプレイ
演奏時間表示切り替え

Tape Mode22
早送り/巻戻し
DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)
プログラム
ドルビーB NRシステム
テープポジションセクター
インデックススキッププレイ
ランダムスキップ
リピートプレイ
ディスプレイ表示切り替え

Tuner Mode24
バンド切り替え
チューニング
オートメモリー
マニュアルメモリー
プリセットチューニング
ディスプレイ表示切り替え

Name Set26
DNPS (ディスクネームプリセット)
SNPS (ステーションネームプリセット)

DSP/Equalizer Control28
DSPの設定
イコライザーモードの選択
イコライザーレベルの調節

Analyzer Control30
アナライザーの切り替え

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

External Disc Control32
ディスクサーチ
トラックサーチ
マニュアルサーチ
ポーズ
トラックリピートプレイ
ディスクリピートプレイ
トラックスキッププレイ
ディスクスキッププレイ
トラックランダムプレイ
マガジンランダムプレイ
タイトル/テキストスクロール
ディスプレイ表示切り替え

Source Selection/Audio Control

Display/Clock Control

Function Control

CD Mode

Tape Mode

Tuner Mode

Name Set

DSP/Equalizer Control

Analyzer Control

EZ Operation

Options

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

Help

? Operation

? Word

すぐに使いたいたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

EZ Operationを習得したらここへ。すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。別売品を接続しているときにお読みください。

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、本機の取り付け方法などを説明した [Appendices] があります。

- 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
- このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて

共通の操作
ソースにかかわらず共通の操作を表しています。

テープの操作
テープをプレイする操作を表しています。

CDの操作
CDをプレイする操作を表しています。

チューナーの操作
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

注意
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す
ボタンをチョンと押すことを表します。

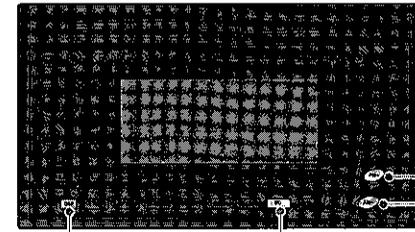


1秒以上押す
1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。
通常、約1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには約2秒間押します。押し秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

DSP/Equalizer Control



この辺ボタンABC...
操作するボタンがどこにあるのか...、位置を表すためのマークです。

A

B

DSPの設定

DSPのサウンドフィールド（疑似音場効果）を設定します。

1 DSPモードにします



2 サウンドフィールドを選択します



3 DSPモードを終了



または、10秒間以上押します。

ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

押すたびに次の設定項目が切り替わります。

表示される文字/内容

- Bypass バイパス (DSP効果の無い通常の音)
- Stadium スタジアム
- Concert コンサート
- Club Disco クラブディスコ
- Church 教会
- Listening リスニング

内容の説明

ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

- 交通情報機能で受信中はバイパス (Bypass) になり、サウンドフィールドを替えることはできません。

Source Selection/Audio Control

Display/Clock Control

Function Control

CD Mode

Tape Mode

Tuner Mode

Name Set

DSP/Equalizer Control

Analyzer Control

EZ Operation

Options

Help

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊙記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



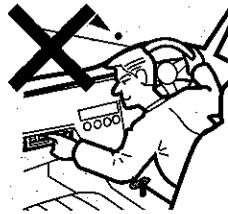
実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。

警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクやカセットの挿入・取り出し など）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

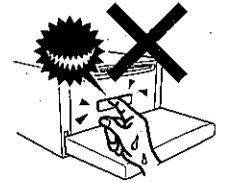
修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



禁止

カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

本機に接続できる

ディスクチェンジャーについて

KDC-C510, KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KMD-C30, またはRJ-480が接続可能です。これらのディスクチェンジャーの“O-N”スイッチは“N”側に設定してください。また、CDテキスト表示は上記のCDチェンジャーのみで行えます。

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニットKCA-S210Aを使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

本機のDNPS機能は本機内部の記憶機能に10枚まで記憶することができます。また、CDチェンジャーに内蔵の記憶機能についてはCDチェンジャーにより異なりますのでCDチェンジャーの取扱説明書を参照してください。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

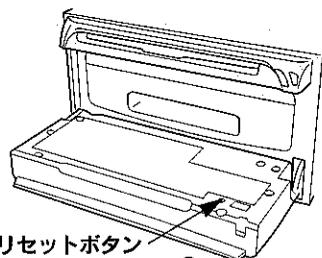
セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp (P.36)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- カセットテープやCDが取り出せない。
- カセットテープやCDを正しく入れ直してもインジケータの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに“AUX INPUT”と表示される。
- KCA-S210A / CA-C1AXが接続されていないのに“AUX INPUT”と表示される。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなります。

このようなときは、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

温度について

直射日光下で窓を開ききっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

車両のラジオアンテナが自動で伸びるオートアンテナ付き車に取り付けた場合、本機のTUNERソースまたは交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、TUNER以外のソースに切り替えてください。

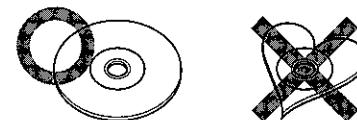
使用できないCD

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。



特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。



マークの付いていないCDは使用しないでください。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

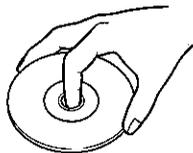
レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

CDとカセットテープの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いので、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

CDの保存

直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高い場所には置かないでください。

特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

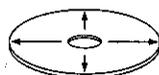
長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

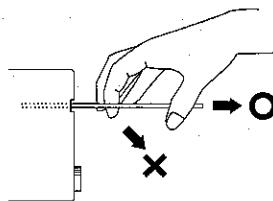
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



CDの取り出し方

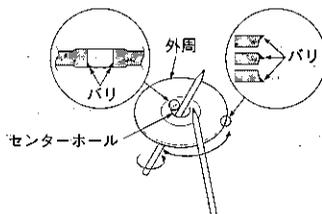
本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。



新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



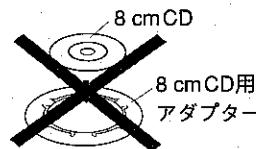
CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は故障の原因となりますので使用しないでください。



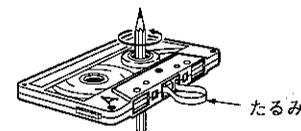
8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売品の8cmCD用マガジンをご使用ください。

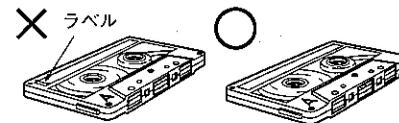


カセットテープの取り扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風がかかる場所へは置かないでください。

100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないでください。

エンドレステープは使用しないでください。

ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店でも市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

ディスクとテープのプレイは簡単！ ディスクまたはテープを差し込むだけです。

音量をすばやく小さくします。
もう一度押しすと、元の音量に戻ります。
● 音量を上げる（へボタンを押す）とアッテネーターが解除されます。

1秒以上押しと、交通情報を受信します。
もう一度1秒以上押しと、元に戻ります。

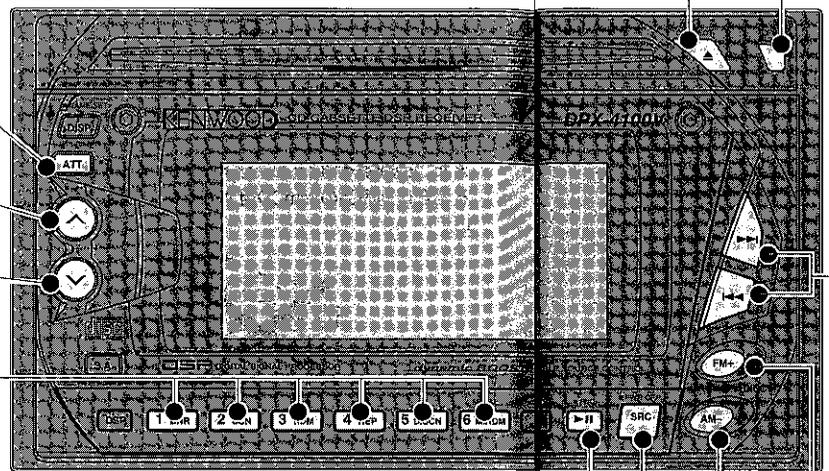
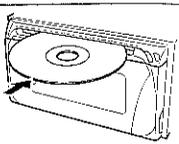
音量を上げます。

音量を下げます。

メモリーされている放送局を選びます。
2秒以上押しと、受信中の放送局をボタンにメモリーします。

CDをプレイするときは…
プレイするCDを差し込みます。

CDを取り出すときは…
CD EJECT△を押します。
CDがイジェクトされます。
● CDがイジェクトされないときは、CDが出るまでCD EJECT△を押し続けてください。



演奏を一時停止します。
もう一度押しとプレイします。

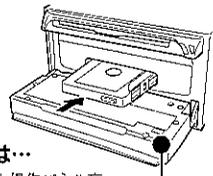
再生方向を切り替えます。
押すたびに、再生方向（A面とB面）が切り替わります。
早送り/巻戻し、またはDPSS中に押しと、通常プレイに戻ります。

電源をオン/オフします。
押しと電源がオンになります。
1秒以上押しと、電源がオフになります。

テープ/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。
テープとディスクが入っているときに押しと、FM/AM放送、テープ、CD、ALL OFFに切り替わります。

カセットテープをプレイするときは…
△を押して操作パネルを開き、プレイするカセットテープを差し込みます。
手でパネルを閉じます。

カセットテープを取り出すときは…
△を押し、操作パネルを開きます。開いた操作パネル裏の□を押すと、カセットテープがイジェクトされます。手でパネルを閉じます。



プレイする曲を選びます。
押すたびに、次の曲または現在演奏中の曲の先頭前の曲になります。
押し続けると、早送り/早戻しができます。

飛び越し選曲します。
続けて押しと、9曲まで飛び越し選曲できます。

受信する放送局を選びます。
AUTO1インジケーターが点灯時は受信状態の良い放送局を自動的に選択できます。
AUTO2インジケーターが点灯時はメモリーボタンにメモリーされた放送局を番号順に切り替えます。
AUTOインジケーターが消えているときは周波数が1ステップ変わります。
〈ファンクションセットp18ページ〉

交通情報（1620kHz/1629kHz/522kHz）を切り替えます。

早送ります。

FM放送のバンド（FM1/FM2）を切り替えます。

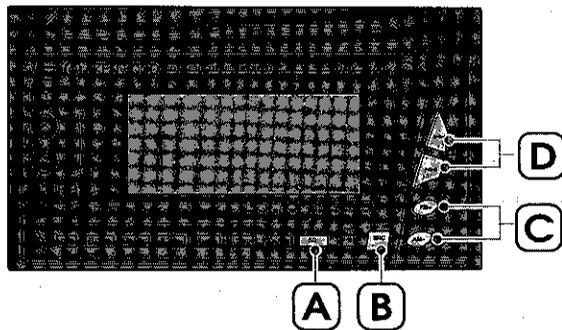
巻戻しします。

AM放送のバンド（AM1/AM2）を切り替えます。

注意

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。
- 開いている操作パネルには無理な力をかけないでください。

Source Selection/Audio Control
Display/Clock Control
Function Control
CD Mode
Tape Mode
Tuner Mode
Name Set
DSP/Equalizer Control
Analyzer Control



プレイするソースを選びます。
また、音量バランスなどを調節します。

ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

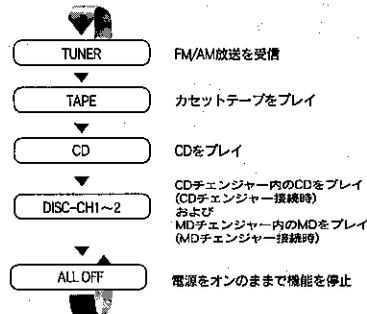


押すたびに次の順で切り替わります。



● 本機にCDが入っているときは インジケータが、カセットテープが入っているときは インジケータがそれぞれ点灯します。
CDやカセットテープが入っていない場合はソース選択ができません。CDまたはカセットテープを挿入してください。

別売品が接続されているときには、次の順で切り替わります。



● 別売品のCD/MDスイッチングユニットKCA-S210AのAUXをオンにして接続している場合は“AUX INPUT”を選択することができます。
● 別売品のCA-C1AXを接続した場合、“DISC-CH”を選択してください。その後、“AUX INPUT”に切り替わります。

オーディオコントロール

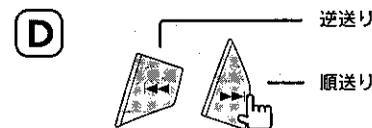
音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールモードにします



● オーディオコントロールはALL OFF以外のモード中に設定できます。

2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



4 オーディオコントロールを終了します

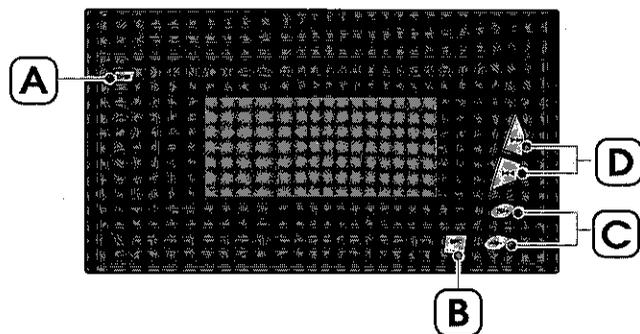


設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
Balance (左右の音量レベル)	L15~0~R15
Fader (前後の音量レベル)	F15~0~R15
NON FAD (ノンフェーダープリアウト出力)	On/Off

(太字は初期設定値)

● “NON FAD” 設定はファンクションセット (18ページ) の“Preout”項目が“N-F”に設定されているときに選択できます。



ディスプレイに表示される情報を切り替えます。
また、時刻を合わせます。

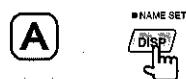
ALL OFFモード中表示切り替え

ALL OFFモード中のディスプレイ表示を選びます。

1 ALL OFFモードにします



2 表示を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



時刻調整

時計表示の時刻を合わせます。

1 時計表示を選びます

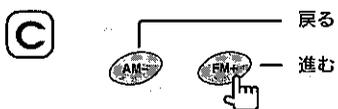


2 時刻合わせを開始します

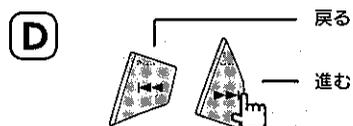


時刻表示が点滅するまで押し続けます。

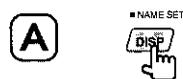
3 “時” を合わせます



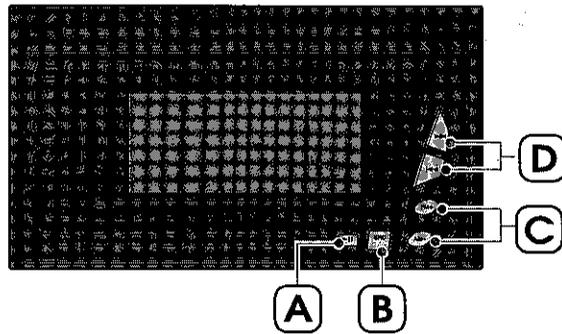
4 “分” を合わせます



5 時刻合わせを終了します



00秒からカウントがスタートします。



本機の各種の機能を設定します。

ファンクションセット

操作時のピープ音などの各種の機能を設定します。

1 設定する項目があるモードにします

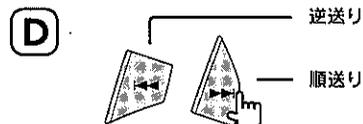


2 ファンクションセットモードにします



“Function Set” と表示されるまで押し続けます。

3 設定する項目を選択します



- 設定項目の詳しい機能説明はHelp Word(P.42)を参照してください。
- 右表の“条件”の内容が満たされていないと、その項目の表示・設定は行えません。

4 値を選択します



5 ファンクションセットモードを終了します



設定できる項目と値は次のとおりです。

ALL OFFモード時のみ

設定項目	設定値	条件
DISP MODE (スピーカ表示部の表示色数を設定)	A/B	---
DIM STEP (ライトスイッチがオンのときのスピーカの明るさを設定)	1~3~5	---
BEEP (ピープ音)	On/Off	---
Preout (プリアウト出力選択)	Front/Rear/N-F	---

(太字は初期設定値)

TUNERモード時のみ

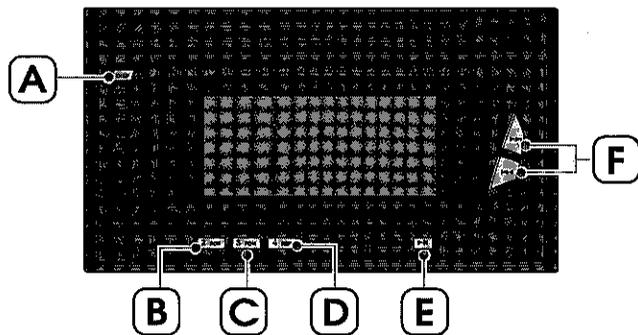
設定項目	設定値	条件
AME (オートメモリー)	登録の方法は24ページをご覧ください。	---
Seek (チューニングモード)	Auto 1/ Auto 2/ Manual	---
MONO (FM放送モノラルチューニング)	On/Off	FM放送受信時

(太字は初期設定値)

CD-CH/MD-CHモード時のみ

設定項目	設定値	条件
AT.SCRL (ディスクタイトル/CDテキストオートスクロール)	On/Off	チェンジャーのO-Nスイッチが“N”に設定時

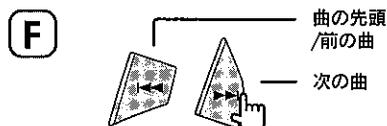
(太字は初期設定値)



CDをいろいろな機能を使ってプレイします。
基本的なCDの聴きかたはEZ Operation (12ページ) をご覧ください。

トラックサーチ

順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時的に停止します。



もう一度押すと、プレイを再開します。

トラックリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフされます。トラックリピートプレイがオンのときにはREPインジケータが点灯します。

トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します



スキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯します。

2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。

ⓔ を押してもプレイされます。

すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンプレイは、自動的に終了します。

ランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。ランダムプレイがオンのときは、RDMインジケータが点灯します。

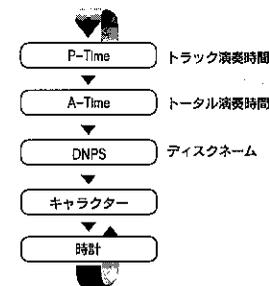
ⓔ を押すと、次の曲をランダムに選択します。

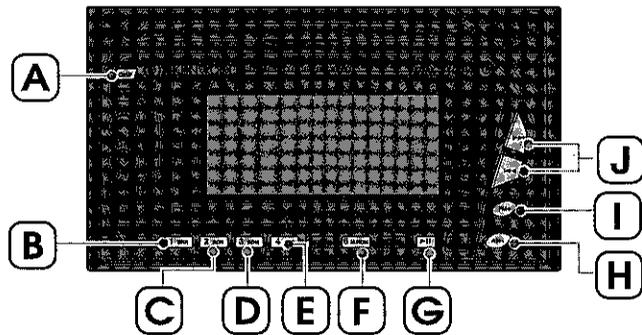
演奏時間表示切り替え

表示するCDの演奏時間を切り替えます。



押すたびに、次の順で表示が切り替わります。





カセットテープをいろいろな機能を使ってプレイします。
基本的なカセットテープのプレイ聴きかたはEZ Operation (12ページ) をご覧ください。

早送り／巻戻し

テープを早送り／巻戻しします。

早送り



巻戻し

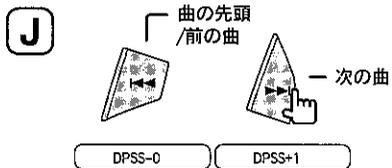


通常プレイに戻すには



DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)

先の曲や現在プレイ中の曲の先頭/前の曲を飛び越し選曲します。



連続して押すと、9曲まで飛び越し選曲できます。

途中で中止するときは



プログラム

テープの再生方向 (A面とB面) を切り替えます。



押すたびに、テープの再生方向が切り替わります。

ドルビー-B NRシステム

ドルビー-B NRシステムをオン/オフします。



押すたびに、ドルビー-B NRシステムがオン/オフされます。
ドルビー-B NRシステムを使用して録音したテープをプレイするときは、オンにします。

テープポジションセレクター

テープポジションのメタルのオン/オフをします。



押すたびに、メタルポジションがオン/オフします。
なお、メタルテープ (Type IV) またはクロムテープ (Type II) をプレイするときは、オンにします。

インデックススキャンプレイ

テープ内の各曲の先頭部分を10秒ずつプレイして聴きたい曲を探ることができます。

1 インデックススキャンプレイを開始します



インデックススキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯します。

2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。

Ⓞ FNC を押してもプレイされます。

リピートプレイ

現在の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、リピートプレイがオン/オフされます。リピートプレイがオンのときは、REPインジケータが点灯します。

● DPSS、インデックススキャンプレイ、リピートプレイするためには、曲間に4秒間以上の無録音部分が必要です。

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

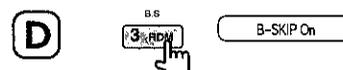


押すたびに次の順で切り替わります。

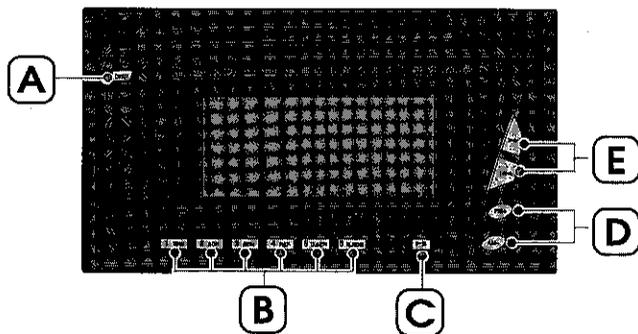


ブランクスキップ

10秒以上続く無録音部分を早送りします。



押すたびに、ブランクスキップがオン/オフされます。



バンド切り替え

FM1とFM2を切り替えます。



AM1とAM2を切り替えます。



チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



チューニングモードがAuto 1のとき
(AUTO 1インジケーターが点灯しています)
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードがAuto 2のとき
(AUTO 2インジケーターが点灯しています)
メモリーボタンにメモリーされている放送局を番号順に切り替えます。

チューニングモードがManualのとき

押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

チューニングモードは“ファンクションセット”
(18ページ)の“Seek”項目で選択できます。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

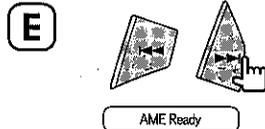
1 バンドを選びます



2 ファンクションセットモードにします



3 オートメモリー項目を選択します



FM/AM放送を受信します。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEz Operation (12ページ)をご覧ください。

4 オートメモリーを開始します



6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

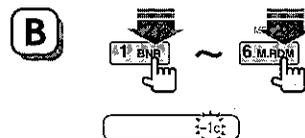
1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン(1~6のいずれか)を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

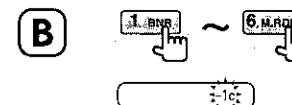
プリセットチューニング

メモリーボタン(1~6)にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます



2 メモリーボタン(1~6のいずれか)を選びます



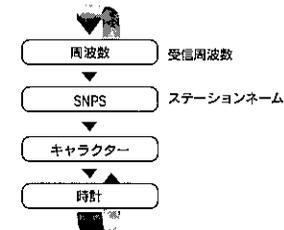
押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

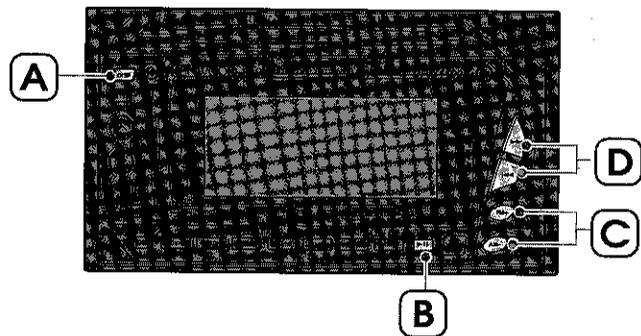
ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。





FM/AM放送局やCDに名前を付けて表示させることができます (SNPS/DNPS)。

DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)

CDやFM/AM放送局に名前を付けます。DNPSは本機のCDプレーヤーに10枚までディスクネームをセットできます。また、別売品のCDチェンジャーにDNPS機能がある場合はCDチェンジャーにもディスクネームをセットできます。(登録可能枚数はCDチェンジャーの取扱説明書を参照)

SNPSはFM/AM放送局には30局までステーションネームをセットできます。

1 名前を付けるモノを選びます

DNPS

名前を登録したいCDを演奏します。

SNPS

名前を登録したい放送局を受信します。

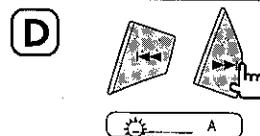
● 時計表示中はDNPS/SNPSは行えません。時計以外の表示を選択しておいてください。

2 DNPS/SNPSを開始します

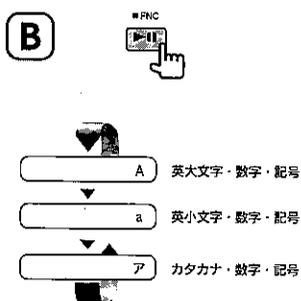


“Name Set”と表示されるまで押し続けます。

3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



4 文字の種類を選びます



- カタカナの小文字は大文字の後に表示されます。
- 入力できる記号は /、+、-、*、=、<、>、[、] です。
- CDチェンジャーが文字種に対応していない場合は文字種の選択はできません。

5 文字を選びます

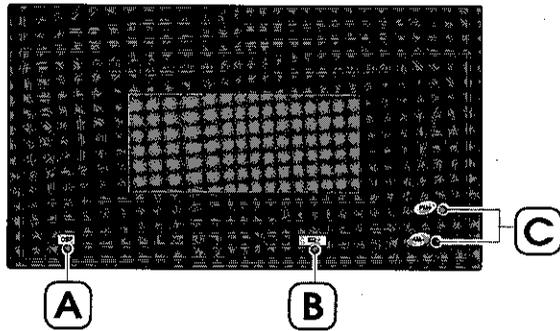


6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 DNPS/SNPSを終了します



- 10秒間操作を中断すると、その時点で名前が確定されます。
- 名前は8文字まで登録できます。
- CDはトラック数 (曲数) と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外すと本機に登録されているDNPS/SNPSは消去されます。



DSP (デジタルシグナルプロセッサ) の音響効果を調節できます。また、イコライザーの調節もできます。

DSPの設定

DSPのサウンドフィールド (疑似音場効果) を設定します。

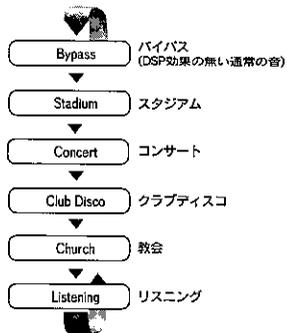
1 DSPモードにします



2 サウンドフィールドを選択します



押すたびに次の順で設定項目が切り替わります。



● 交通情報機能で受信中はバイパス (Bypass) になり、サウンドフィールドを替えることはできません。

3 DSPモードを終了します



または、10秒間以上何も操作しないでおきます。

イコライザーモードの選択

すでにセットされているイコライザーカーブを呼び出す。

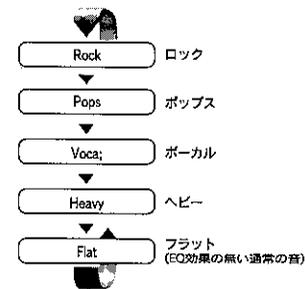
1 イコライザーモードにします



2 イコライザーカーブを選択します



押すたびに次の順で設定項目が切り替わります。



● 交通情報機能で受信中はフラット (Flat) になり、イコライザーを替えることはできません。

3 イコライザーモードを終了します



または、10秒間以上何も操作しないでおきます。

イコライザーレベルの調節

イコライザー効果のレベルを調節します。

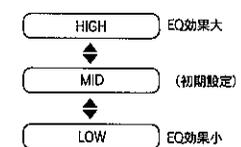
1 イコライザーモードにします



2 レベルを調節します



押すたびに次の順で設定項目が切り替わります。

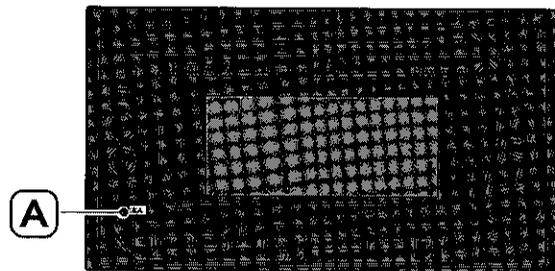


● イコライザーカーブがフラット (Flat) の場合には調節できません。

3 イコライザーモードを終了します



または、10秒間以上何も操作しないでおきます。



スペクトラムアナライザー表示の選択ができます。

アナライザーの切り替え

スペクトラムアナライザー表示を切り替えます。

1 アナライザー選択モードにします



2 アナライザーを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



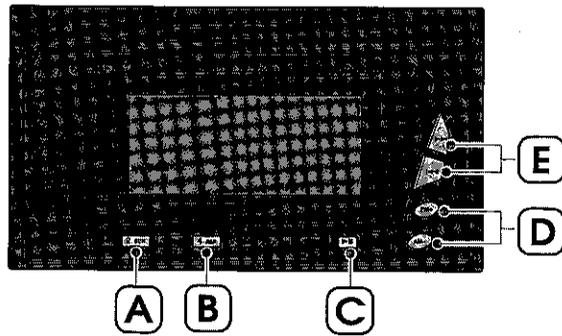
● 交通情報機能で受信中はアナライザーを替えることはできません。

3 アナライザー選択モードを終了します



または、約10秒間以上なにも操作しないでおきます。

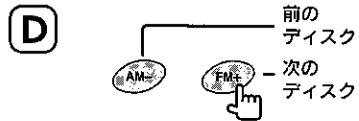
● “ファンクションセット” (18ページ) の “DISP MODE” 項目の設定により、表示部の表示色数を替えることができます。“A” に設定されているときは3色 (赤色、白色、青色) で表示します。また、“B” に設定されているときは2色 (白色、青色) で表示します。



別売品のCDチェンジャー、またはMDチェンジャーを接続しているときは、本機からコントロールできます。

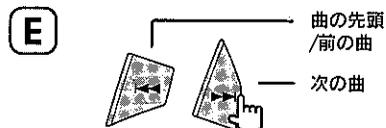
ディスクサーチ (チェンジャーのみ)

プレイするディスクを選択します。



トラックサーチ

順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時的に停止します。



もう一度押すと、プレイを再開します。

トラックリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフします。トラックリピートプレイがオンのときには、REPインジケータが点灯します。

ディスクリピートプレイ (チェンジャーのみ)

現在聴いているディスクを繰り返しプレイします。



1秒以上押すと、ディスクリピートプレイがオン/オフします。ディスクリピートプレイがオンのときには、D.REPインジケータが点灯します。

トラックスキャンプレイ

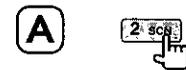
ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します



スキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯します。

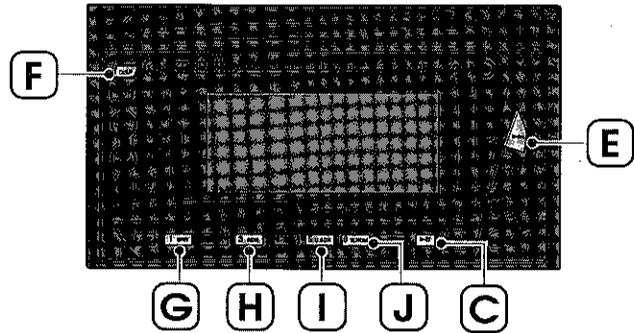
2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイします。

C (10s) を押してもプレイされます。

すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンプレイは、自動的に終了します。



ディスクスキャンプレイ (チェンジャーのみ)
 マガジン内の各ディスクの先頭部分を10秒ずつ
 プレイしてディスクを探ることができます。

1 ディスクスキャンプレイを開始します



ディスクスキャンプレイ中はD.SCNインジケ
 ーターが点灯します。

2 聴きたいディスクのところまで...



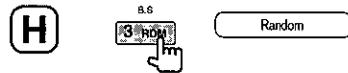
そのディスクからプレイします。

C を押してもプレイされます。

すべてのディスクがスキャンされると、ディスク
 キャンプレイは自動的に終了します。

トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイ
 します。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オ
 フされます。トラックランダムプレイがオンのと
 きには、RDMインジケーターが点灯します。

● **E** を押すと、次の曲をランダムに選択し
 ます。

マガジンランダムプレイ (チェンジャーのみ)

マガジン内のディスクの曲をランダムな順でプ
 レイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オ
 フされます。マガジンランダムプレイがオンのと
 きには、M.RDMインジケーターが点灯します。

● **E** を押すと、次の曲をランダムに選択し
 ます。

タイトル/テキストスクロール

ディスクタイトルやCDテキストをスクロール表
 示します。

1 タイトル/テキスト表示にします



2 スクロール表示します

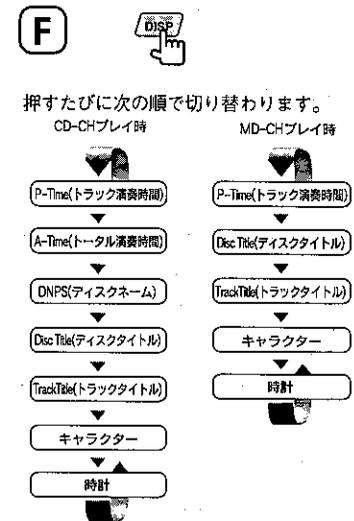


ディスクタイトル/CDテキスト表示が1回スクロ
 ールします。

● ファンクションセットの“AT.SCRL” (タイトル/テ
 キストオートスクロール)が“Off”に設定されてい
 るときでも、この方法でスクロール表示すること
 ができます。

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- 「接続」(46ページ)を見て正しく接続しなおしてください。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- アッテネーターがオンになっている。
- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- 音量を適度に上げてください。
- アッテネーターをオフにしてください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。

操作スイッチを押しても動作しない

- 操作パネルが開いている。
- 操作パネルを閉じてください。操作パネルが開いている間は△EJECTとリセットの操作ができます。
- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

SRCボタンを押しても、CD-CH/MD-CHに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 接続されていないソースには切り替わりません。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

オーディオコントロールのNON FAD項目が表示されない

- ファンクションセットのPreout項目がFrontまたはRearに設定されている。
- ファンクションセットのPreout項目をN-Fに設定します。(18ページ)

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がかちんと接続されていない。
- 遠くのFM放送局や受信状態の悪いFM放送局を受信していて、雑音が多い。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(46ページ)を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。
- 音声をモノラルにすると雑音が軽減され聞き易くなる場合があります。

チューナーの音が届かない

- カセットテープまたはCDをイジェクトしている。
- カセットテープおよびCDのイジェクト動作中は、一時的に音が出なくなります。イジェクト動作が完了すると元通りに音が出ます。

Tape mode

カセットテープが入らない

- すでにカセットテープが入っている。
- カセットハーフが変形している。
- 逆向きに入れようとした。
- 入っているカセットテープを取り出してください。
- 他のカセットテープを使用してください。
- テープが見える面を右にして入れてください。

SRCボタンを押しても、テープに切り替わらない

- カセットテープがセットされていない。
- カセットテープをセットしてください。

テープでDPSS、リピート、インデックススキャンできない、目的の位置で止まらない

- 曲間の無録音部分が短すぎる。
- 曲間に無録音部分を4秒以上入れてください。

曲の途中で早送りされる

- 録音レベルの低い部分が10秒間以上ある。
- ブランクスキップをオフにしてください。

ブランクスキップされない

- 無録音部分の雑音が多い。
- 雑音が小さくなるように録音してください。

曲の先頭しかプレイしない

- インデックススキャンプレイがオンになっている。
- インデックススキャンプレイをオフにしてください。

音質が悪い

- テープポジションセレクターの設定が違っている。
- ドルビーNRシステムの設定が違っている。
- プレイしているカセットテープのポジション(タイプ)を確認して、正しく設定してください。
- ドルビーB NRシステムを使用して録音したテープか確認してください。

インジケーターが点滅し続ける

- テーププレーヤーが誤動作している。
- △イジェクトボタンを押してカセットテープを取り出して下さい。カセットテープを入れなおしてもインジケータが点滅し続ける場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

CD/External Disc mode

SRCボタンを押してもディスク (CD/MD) に切り替わらない

ディスクがセットされていない。 → プレイするディスクをセットしてください。

ディスク (CD) が入らない

すでにディスクが入っている。 → 入っているディスクを取り出してから入れてください。

ディスク (CD/MD) のプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。
- 30°以下になるように取り付けなおしてください。
- しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐車車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

- CDが裏返しである。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。
- レーベル面を上にして入れなおしてください。
- 「CDとカセットテープの取り扱い」を見て、CDをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(9ページ)
- リセットボタンを押してCDを取り出しから、再度CDを挿入してください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

トラックランダムプレイがオンになっている。 → トラックランダムプレイをオフにしてください。

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートがオンになっている。 → トラックリピートをオフにしてください。

曲の先頭しかプレイされない

トラックスキャンプレイがオンになっている。 → トラックスキャンプレイをオフにしてください。

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。 → ディスクリピートプレイをオフにしてください。

曲が順にプレイされない

トラックランダムプレイがオンになっている。 → トラックランダムプレイをオフにしてください。

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。 → マガジンランダムプレイをオフにしてください。

CDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。 → CD EJECTボタンをCDがイジェクトされるまで押し続けてください。

文字がスクロールされない

- 情報文字数が12文字以下のため。
- ディスク名を表示しているため。
- オートスクロールをオフにしている。
- 表示部に情報文字がすべて表示されている場合はスクロールされません。
- スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキストです。
- ファンクションセットの「AT.SCRL」(18ページ)またはタイトル/テキストスクロール(35ページ)を見てオートスクロールをオンにするか、手でスクロールしてください。

マガジンランダム、ディスクスキャンプレイができない

ディスクが1枚しか入っていない。 → ディスクを2枚以上挿入してください。

インジケーターが点滅し続ける

- CDプレーヤーが誤動作している。
- ▲イジェクトボタンを押してCDを取り出してください。CDを入れなおしてもインジケーターが点滅し続ける場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

CD-R、CD-RWが再生できない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーでプレイしている。
- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- CD-R/RW未対応のCDチェンジャーはプレイできません。

Name Set

DNPSができない

- 接続したディスクチェンジャーがDNPSに対応していない。
- MDをプレイしている。
- ディスクスキャン、マガジンランダムがオンになっている。
- ディスクチェンジャーがDNPS機能に対応していないと使用できません。
- MDにはDNPSはできません。
- ディスクスキャン、マガジンランダムをオフにしてください。

SNPS、DNPS表示にしても“No Name”と表示される

- ステーションネームが登録されていない。
- ディスクネームが登録されていない。
- ステーションネームを登録してください。
- ディスクネームを登録してください。

登録したはずのステーションネーム、ディスクネームが消えた

- 31局目のステーションネームを登録した。
- 登録可能枚数を超えてディスクネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 登録できるステーションネームは30局分です。
- 登録できるディスクネームは本機に10枚までです。接続したディスクチェンジャーの登録可能枚数はそれぞれの取扱説明書を参照してください。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

CDのタイトル表示に切り替えても“No Text”と表示される

- CDテキスト（ディスクタイトルやトラックタイトル）が記録されていない。
- CDテキストが記録されたCDを再生してください。

MDのタイトル表示に切り替えても“No Title”と表示される

- ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていない。
- MDにディスクタイトルなどを記録すると表示されます。

ディスクネームがまちがって表示される

- 総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。
- 識別する方法はありません。

ディスクネームの文字種が選択できない

- 接続したCDチェンジャーがDNPSの文字種に対応していない。
- 対応していない文字種の入力はできません。

DSP Control

DSP効果が得られない

- 2スピーカーシステムになっている。
- フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。
- スピーカーの極性が逆に接続されている。
- フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。
- 4スピーカーシステムでお使いください。
- 「接続」(46ページ)を見て正しく接続してください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。

Function Control

タイマーが機能しない

- 車両のライトスイッチがオフになっている。
- イルミネーションコードが接続されていない。
- イルミの設定値が明るい。
- 車両のライトスイッチをオンにしてください。
- 「接続」(46ページ)を見て正しく接続してください。
- ファンクションセットの「DIM STEP」(18ページ)の設定を行ってください。

SCRL項目が表示されない

- 本機にセットしたCDを演奏している。
- 使用しているディスクチェンジャーに“O-N”スイッチがない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチが“O”になっている。
- 本機にセットしたCDではCD-TEXTを表示できないため、スクロールの設定は行えません。
- “O-N”スイッチがあるディスクチェンジャーをご使用ください。
- ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

BEEP

(ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ビッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ビッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押し続けて機能をおにしたときには“ビッビッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”に設定することにより消すことができます。

DISP MODE

(ディスプレイモード)

アナライザー表示部の表示色数を設定します。

“A”に設定すると赤色、白色と青色の3色で表示します。

“B”に設定すると白色と青色の2色で表示します。

DIM STEP

(ディマーステップ)

夜間など周囲が暗くなったときに、本機の表示部が明るくなりすぎるので、ヘッドライトのオンに連動して本機の表示部を暗くする機能です。

表示部の明るさ(減光量)を5段階に調整できます。

Preout

(プリアウト)

別売の外部アンプなどに接続するための音声出力です。プリアウトを、フロント出力とリア出力、ノンフェーダー出力に切り替えます。

ノンフェーダー出力(“N-F”)は、オーディオコントロールのフェーダー調整に影響されない出力に切り替えることができます。フェーダー調整に影響されないのでサブウーファー用の出力に活用できます。

AT.SCRL

(オートスクロール)

ディスクタイトルやCDテキストが長い場合ディスプレイ部分では表示しきれないときはスクロールして表示されます。

この機能を“On”に設定しておくと、このスクロール表示を繰り返して行い、“Off”に設定しておくと表示が変わったときだけ1回スクロール表示することができます。

Seek

(チューニングモード)

放送局の探し方を設定することができます。

“Auto 1”に設定しているときに◀◀▶▶ボタンを押すと放送局を自動的に見付け出します。

“Auto 2”に設定しているときに◀◀▶▶ボタンを押すとメモリーボタンにメモリーした放送局をメモリーボタン(1~6)順に切り替えて受信します。

“Manual”に設定しておくとも1ステップずつ周波数を変えることができます。

MONO

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

Dolby B NR

(ドルビーBノイズリダクション)

テープのノイズを軽減するための機能で、ドルビーラボラトリーズ社により統一された規格です。

ドルビーB NRシステムを使用して録音したテープは、再生するときもドルビーB NRシステムを使用して再生します。

TI

(トラフィックインフォメーション)

高速道路上などでは決められた周波数で交通情報を放送しています。

テープやCDなどを聴いていても、すばやく交通情報を聴くための機能です。

DSP

(デジタルシグナルプロセッサ)

音楽信号をデジタル処理することにより、反射音や残響音などの音響効果を作り出し、擬似的にコンサートホールなどの音場空間を作る機能です。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品の、CDチェンジャー(KDC-C510、KDC-C410など)、MDチェンジャー(KMD-C30、RJ-480など)です。

CDまたはMDを数枚格納しディスクの交換をその都度行わなくて良い製品です。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- AUX INPUT** : 別売品のKCA-S210AのCH1またはCH2端子にディスクチェンジャーが接続されていない。
- Error 04** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
⇒ほかのディスクを使用してください。
- Error 77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
⇒本機のリセットボタンを押してください。“Error 77”の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Error 99** : ●ディスクマガジンに異常がある。
⇒ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
⇒イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- HOLD** : ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇒ディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- No Name** : ●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないCDを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- No Title** : タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Text** : CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Track** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
⇒ほかのディスクを使用してください。
- Blank** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
⇒ほかのディスクを使用してください。
- Error 12** : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
⇒データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。
-  (点滅) : テーププレーヤーが正常に動作していない。
⇒テープを取り出してから、テープを入れなおしてください。
-  (点滅) : CDプレーヤーが正常に動作していない。
⇒CDを取り出しから、CDを入れなおしてください。

取り付け時のご注意

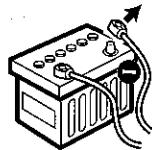
警告



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



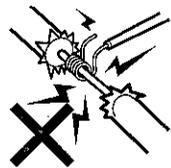
配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



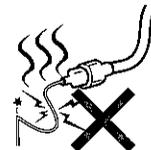
本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



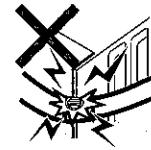
アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

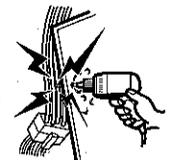


バッテリー電源(黄)を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量(10A)以上であることを確認してください。また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



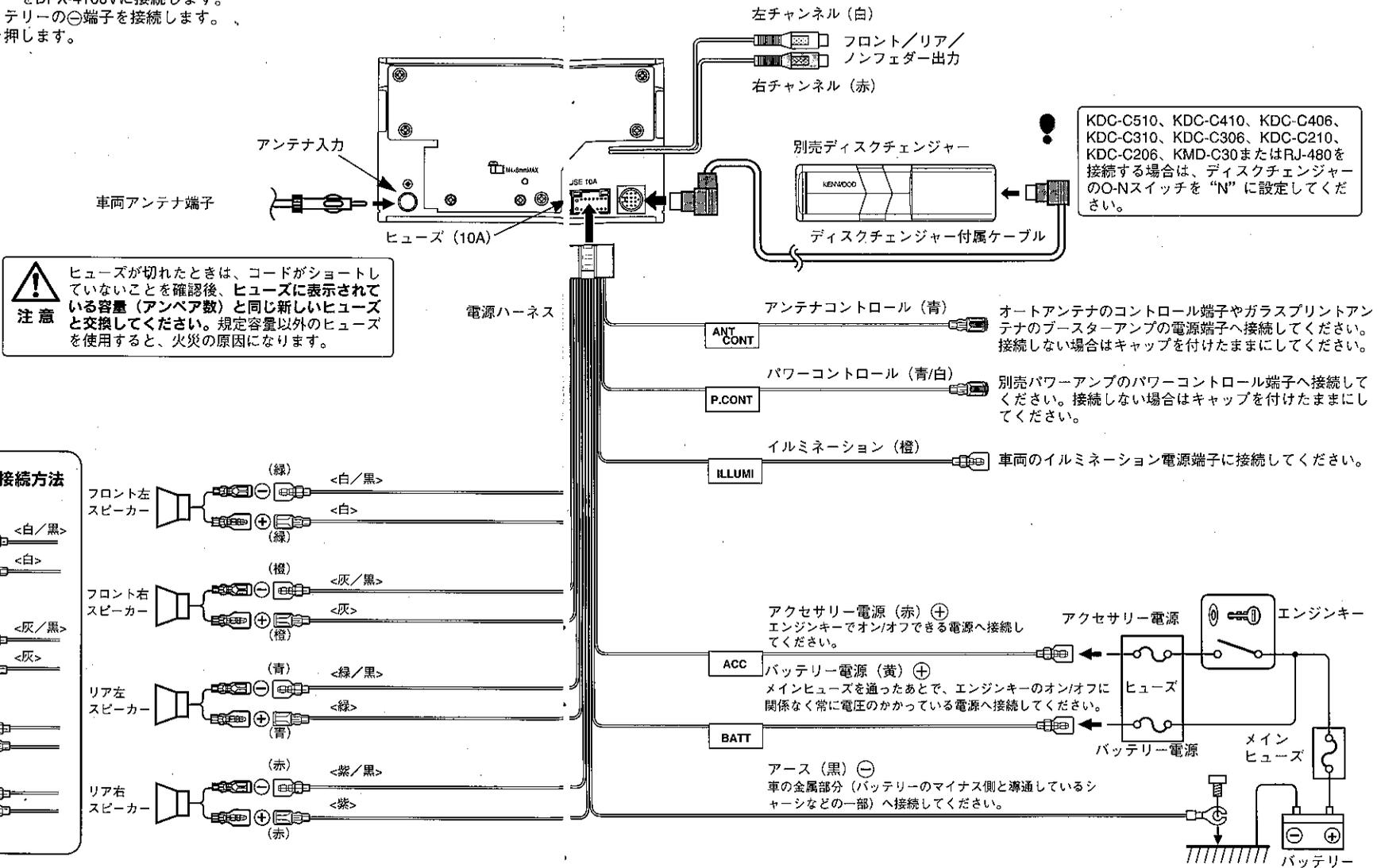
事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続

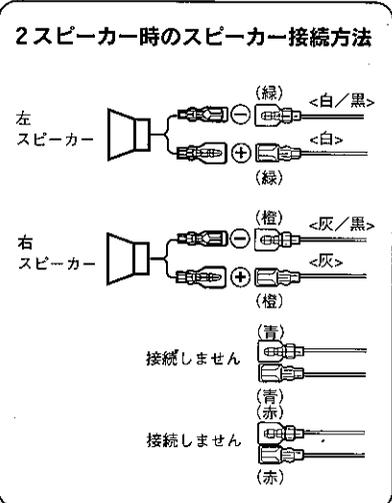
! 初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターをDPX-4100Vに接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタンを押します。



! ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量 (アンペア数) と同じ新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。



取り付け

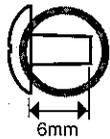
付属のトラスネジ (M5×6mm) 6本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



注意

- 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。
- 取り付け前にCDの動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/イジェクトを行ってください。

付属取付ネジ



その他のネジ

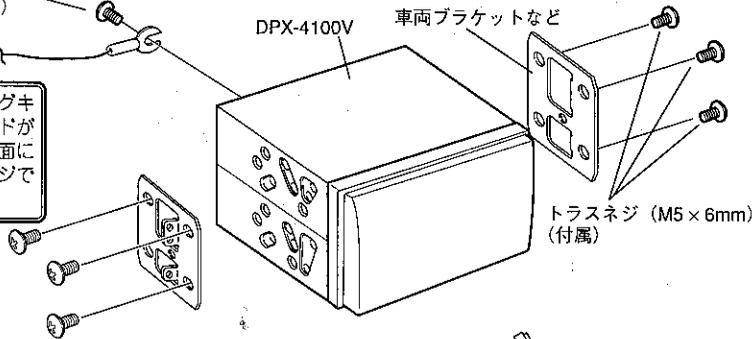


付属ネジ一覧

	トラスネジ (M5×6mm)	6
	バインドネジ (M4×6mm)	1

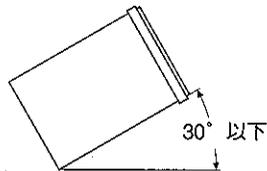
バインドネジ
(M4×6mm) (付属)

別売のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。



注意

本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。



別売のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「Help」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)
実用感度(S/N:30 dB)
S/N 50 dB感度
周波数特性(±3.0 dB)
S/N比
選択度(±400 kHz)
ステレオセパレーション

76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
30 Hz~15 kHz
75 dB (MONO)
80 dB以上
40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)
感度

522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
28 dB μ (25 μ V)

カセットテーププレーヤー部

テープスピード
ワウ & フラッター
周波数特性(±3 dB)
ステレオセパレーション
S/N比 (IHF-A)

4.76 cm / 秒
0.08 % (WRMS)
25 Hz~22 kHz (70 μ s)
40 dB (1 kHz)
60 dB (Dolby B NR OFF)
68 dB (Dolby B NR ON)

CDプレーヤー部

レーザー
デジタルフィルター
D/Aコンバーター
回転数
ワウ & フラッター
周波数特性
高調波歪率
S/N比
ダイナミックレンジ
ステレオセパレーション

GaAlAs (ダブルヘテロダイオード、 $\lambda=780$ nm)
8倍オーバーサンプリング
1 Bit
500~200 rpm (線速度一定)
測定限界以下
10 Hz~20 kHz (±1 dB)
0.01 % (1 kHz)
93 dB (1 kHz)
93 dB
85 dB

オーディオ部

最大出力
定格出力
プリアウトレベル
プリアウトインピーダンス

40 W \times 4
26 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD)
1500 mV / 10 k Ω
600 Ω 以下

電源部

電源電圧
最大消費電流

14.4 V (11~16 V)
10.0 A

寸法・質量

埋込寸法(W \times H \times D)
質量(重さ)

178 \times 100 \times 155 mm
2.7 kg

付属部品

電源ハーネス
トラスネジ (M5 \times 6mm)
セムスネジ (M4 \times 8mm)

1本
6本
1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。